

2010年9月8日

リチウムイオン二次電池用負極材の製造能力増強について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「当社」)は、坂出事業所(所在地:香川県坂出市、事業所長:大西 武)におけるリチウムイオン二次電池用負極材の製造能力増強を決定しました。

当社は現在、坂出事業所に年産3,000トンの負極材製造設備を保有しており、2010年12月に2,000トンの製造能力増強を予定しています。

このたび、いっそうの需要拡大に対応するため、製造能力をさらに2,000トン増強し、年産7,000トンとすることを決定したものです。増強工事の完了は2011年5月、投資金額は約10億円の予定です。

三菱化学はリチウムイオン二次電池の主要4材料(電解液・負極材・正極材・セパレータ)すべてを取扱う世界唯一の企業として、お客様のニーズに合った最適な組合せを提案してゆくとともに、安定した品質と供給体制を整え、電池材料ビジネスのさらなる拡大に努めてまいります。

以上

【ご参考:リチウムイオン二次電池用材料の製造能力増強計画】

創造 APTSIS 10

【LiB材料】投資計画

APTSIS

継続的な設備投資により、製造能力をグローバルに増強する

	現行能力	2015年までの 投資予定額	目標能力	内容
電解液	8,500トン/年	計300億円	50,000トン/年	国内外で増強
負極材	3,000トン/年		35,000トン/年	国内外で増強
正極材	600トン/年		15,000トン/年	国内増強
セパレータ	1,200万m ² /年		7,200万m ² /年	国内増強

売上見込 800億円(2015年度)

トピックス

- 負極材用原料:中国の青島泰達と合併会社設立(2010年5月)
- 負極材:坂出事業所設備増強(2010年12月) → +2,000トン
- 正極材:水島事業所設備増強(2010年10月) → +1,600トン

(2010年6月1日(株)三菱ケミカルホールディングス事業説明会資料より抜粋)

本件に関するお問合せ先
三菱化学(株)広報室
電話:03-6414-3730